



平成 19 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 19 年 2 月 14 日

上場会社名 **アマタ株式会社**

上場取引所 大証へラクレス

(URL <http://www.amita-net.co.jp/>)

(コード番号: 2490 S **G**)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 熊野 英介

(TEL: (03) 5215-8255)

責任者役職・氏名 取締役経営管理部長 清水 太朗

1 四半期財務・業績の概況の作成等に係る事項

- ① 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ② 連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 有（連結（新規）1社）
- ③ 公認会計士又は監査法人による関与の有無 : 無

2 平成 19 年 3 月期第 3 四半期の財務・業績概況（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日）

当社は、平成 18 年 11 月 1 日に日化スミエイト(株)株式を追加取得し完全子会社としましたので、当連結会計年度より連結財務諸表を作成しておりますので、当第 3 四半期の数値のみ記載しております。

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

(単位: 百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 3 月期第 3 四半期	2,919	—	△42	—	△76	—	△57	—
18 年 3 月期第 3 四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
(参考)18 年 3 月期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1 株当たり四半期 （当期）純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期（当 期）純利益	
	円	銭	円	銭
19 年 3 月期第 3 四半期	△105	67	—	—
18 年 3 月期第 3 四半期	—	—	—	—
(参考)18 年 3 月期	—	—	—	—

(注) 1. 期中平均株式数 19 年 3 月期第 3 四半期 540,708 株

2. 平成 19 年 3 月期第 3 四半期の潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益については、四半期純損失を計上しているため記載しておりません。

【経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等】

当第 3 四半期（平成 18 年 4 月 1 日から平成 18 年 12 月 31 日まで）におけるわが国経済は、長期的かつ緩やかな景気の拡大が続き、企業の設備投資、個人消費も堅調な動きをみせてまいりました。

このような状況下におきまして、当社は株式の取得により平成 18 年 11 月 1 日に関連会社であった日化スミエイト(株)を完全子会社とし、関東圏での営業及び製造業務の一体的な運営管理体制を構築することで、資本や資産のより一層の効率的利用を図り、当社グループ全体の価値を高めていくことを目的として活動を行ってまいりました。

以上により当社グループの第 3 四半期会計期間の業績につきましては、売上高 2,919 百万円、経常損失 76 百万円、第 3 四半期純損失 57 百万円となりました。

なお、平成 18 年 3 月期は連結財務諸表を作成しておりませんので対前期比較はしておりません。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
19年3月期第3四半期	3,010	1,150	38.2	2,036 58
18年3月期第3四半期	—	—	—	—
(参考)18年3月期	—	—	—	—

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
19年3月期第3四半期	△79	△519	523	398
18年3月期第3四半期	—	—	—	—
(参考)18年3月期	—	—	—	—

【財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等】

①財政状態の変動状況

第3四半期末における総資産は、土地建物など有形固定資産の増加(329百万円)等により3,010百万円となりました。負債については、借入金の増加(179百万円)等により1,859百万円、また、純資産については、主に公募増資により1,150百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

第3四半期におけるキャッシュ・フローの状況は、日化スミエイト㈱の完全子会社化による支出192百万円や固定資産の取得による支出323百万円等もあり、第3四半期末の現金及び現金同等物の残高は、398百万円となりました。

3 平成19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
通期	4,941	281	162

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 286円83銭

【業績予想に関する定性的情報等】

平成18年11月1日に公表いたしました平成19年3月期通期の業績予想に変更はございません。

※上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

【参考】個別情報

当社は、平成19年3月期第1四半期より開示しているため、平成18年3月期第3四半期の経営成績の進捗状況及び財政状態の変動状況、平成18年第3四半期比増減率の記載を省略しております。

1. 平成19年3月期第3四半期の財務・業績概況（平成18年4月1日～平成18年12月31日）

経営成績（個別）の進捗状況

（単位：百万円未満切捨）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	2,822	—	△53	—	△82	—	△57	—
18年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
（参考）18年3月期	3,067	—	228	—	213	—	102	—

	1株当たり四半期（当期）純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第3四半期	△106	22	—	—
18年3月期第3四半期	—	—	—	—
（参考）18年3月期	322	16	—	—

（注）1. 期中平均株式数 19年3月期第3四半期 540,708株 18年3月期 319,093株

2. 平成19年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、四半期純損失を計上しているため記載しておりません。

2. 財政状態（個別）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	2,866	1,099	38.4	1,947 08
18年3月期第3四半期	—	—	—	—
（参考）18年3月期	2,492	785	31.5	1,595 72

3. 平成19年3月期の個別業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金	
				期末	
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭
通 期	4,581	270	160	87.00	87.00

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 283円29銭

【業績予想に関する定性的情報等】

平成18年6月23日に公表いたしました平成19年3月期通期の業績予想に変更はございません。

※上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

【四半期財務諸表】

(要約) 四半期連結貸借対照表

区分	注記 番号	当第3四半期連結会計期間末 (平成18年12月31日)		(参考) 前連結事業年度 (平成18年3月31日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
(資産の部)					
I 流動資産					
1 現金及び預金	※2	403,463		—	
2 受取手形及び売掛金	※5	655,443		—	
3 たな卸資産		32,760		—	
4 その他		157,706		—	
貸倒引当金		△655		—	
流動資産合計			1,248,718	41.5	—
II 固定資産					
1 有形固定資産					
(1) 建物及び構築物	※1.2	382,844		—	
(2) 機械装置及び運搬具	※1.2	197,327		—	
(3) 土地	※2	707,564		—	
(4) その他	※1	36,853		—	
有形固定資産合計		1,324,590		—	
2 無形固定資産					
(1) のれん		177,420		—	
(2) その他		11,051		—	
無形固定資産合計		188,471		—	
3 投資その他の資産	※1.2	248,327		—	
固定資産合計			1,761,389	58.5	—
資産合計			3,010,107	100.0	—

区分	注記 番号	当第3四半期連結会計期間末 (平成18年12月31日)		(参考)前連結事業年度 (平成18年3月31日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
(負債の部)					
I 流動負債					
1	※2	261,391		—	
2	※2	60,000		—	
3	※2	275,254		—	
4	※4	148,088		—	
5		184,466		—	
6		35,168		—	
7		102,694		—	
			1,067,062	35.5	—
II 固定負債					
1	※2	702,582		—	
2		88,749		—	
3		1,454		—	
			792,786	26.3	—
			1,859,848	61.8	—
(純資産の部)					
I 株主資本					
1			459,079		—
2			392,179		—
3			296,528		—
4			△742		—
			1,147,045	38.1	—
II 評価・換算差額等					
1			2,574		—
2			639		—
			3,213	0.1	—
			1,150,259	38.2	—
			3,010,107	100.0	—

(要約) 四半期連結損益計算書

		当第3四半期連結会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)		(参考) 前連結事業年度 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)		
区分	注記 番号	金額 (千円)		百分比 (%)	金額 (千円)	百分比 (%)
I 売上高			2,919,194	100.0		—
II 売上原価			1,801,363	61.7		—
売上総利益			1,117,831	38.3		—
III 販売費及び一般管理費			1,159,938	39.7		—
営業利益			△42,106	△1.4		—
IV 営業外収益	※2		10,499	0.3		—
V 営業外費用	※3		44,493	1.5		—
経常利益			△76,100	△2.6		—
VI 特別利益	※4		1,030	0.0		—
VII 特別損失	※5		2,020	0.0		—
税金等調整前第3四半期 純利益			△77,091	△2.6		—
法人税、住民税及び事業 税		7,222			—	
法人税等調整額		△27,176	△19,953	△0.6	—	—
第3四半期純利益			△57,137	△2.0		—

(要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

		当第3四半期連結会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)	(参考) 前連結事業年度 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)
区分	注記 番号	金額 (千円)	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前第3四半期純利益		△77,091	—
減価償却費		52,155	—
のれん償却額		4,327	—
貸倒引当金の増減額 (減少: △)		△30	—
退職給付引当金の増減額 (減少: △)		8,511	—
賞与引当金の増減額 (減少: △)		△26,524	—
受取利息及び受取配当金		△4,310	—
支払利息		9,335	—
固定資産売却益		△1,000	—
固定資産売却損		74	—
固定資産除却損		1,946	—
売上債権の増減額 (増加: △)		72,354	—
たな卸資産の増減額 (増加: △)		△14,560	—
仕入債務の増減額 (減少: △)		11,717	—
その他		△9,028	—
小計		27,877	—
利息及び配当金の受取額		4,308	—
利息の支払額		△9,757	—
法人税等の支払額		△101,877	—
営業活動によるキャッシュ・フロー		△79,448	—
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出		△317,656	—
有形固定資産の売却による収入		1,053	—
無形固定資産の取得による支出		△5,613	—
投資有価証券取得による支出		△830	—
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	※2	△192,188	—
貸付金の回収による収入		160	—
保険積立金の払込による支出		△1,581	—
その他		△2,349	—
投資活動によるキャッシュ・フロー		△519,006	—

		当第3四半期連結会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)	(参考)前連結事業年度 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)
区分	注記 番号	金額(千円)	金額(千円)
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入れによる収入		30,000	—
短期借入金の返済による支出		△190,000	—
長期借入れによる収入		500,000	—
長期借入金の返済による支出		△190,761	—
株式の発行による収入		405,779	—
自己株式の取得による支出		△742	—
配当金の支払額		△31,006	—
財務活動によるキャッシュ・フロー		523,268	—
Ⅳ 現金及び現金同等物に係る換算差額		△952	—
Ⅴ 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)		△76,138	—
Ⅵ 現金及び現金同等物の期首残高		474,602	—
Ⅶ 現金及び現金同等物の第3四半期期末残高	※1	398,463	—

項目	当第3四半期連結会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)	(参考) 前連結事業年度 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)
(3) 重要な引当金の計上 基準	<p>(イ) 貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。</p> <p>(ロ) 賞与引当金 従業員賞与の支給に備えるため、賞与支給見込額に基づく当第3四半期負担額を計上しております。</p> <p>(ハ) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当連結事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき当第3四半期に発生していると認められる額を計上しております。 なお、会計基準変更時差異(10,604千円)については、15年による均等額を費用処理しております。</p>	<p>—————</p> <p>—————</p> <p>—————</p>
(4) 重要な外貨建の資産 及び負債の本邦通貨への 換算基準	<p>外貨建金銭債権債務は、第3四半期末日の直物為替相場により円貨に換算し、為替差額は損益として処理しております。</p>	<p>—————</p>
(5) 重要なリース取引の 処理方法	<p>リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。</p>	<p>—————</p>

項目	当第3四半期連結会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)	(参考) 前連結事業年度 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)						
(6) 重要なヘッジ会計の方法	<p>(イ) ヘッジ会計の方法 繰延ヘッジ処理によっております。 なお、特例処理の要件を満たして 金利スワップ取引については、特例 処理を適用しております。</p> <p>(ロ) ヘッジ手段とヘッジ対象</p> <table border="1" data-bbox="555 489 946 590"> <thead> <tr> <th>ヘッジ手段</th> <th>ヘッジ対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>為替予約</td> <td>外貨建金銭債権債務</td> </tr> <tr> <td>金利スワップ</td> <td>借入金利息</td> </tr> </tbody> </table> <p>(ハ) ヘッジ方針 外貨建取引については、その取引契 約時に為替予約により円貨額を確定さ せ、為替リスクをヘッジすることを目 的としております。また、金利リスク のあるものについては、金利スワップ により金利リスクをヘッジしてしま す。</p> <p>(ニ) ヘッジ有効性の評価の方法 ヘッジ手段とヘッジ対象に関する重 要な条件が同一であり、かつ、ヘッジ 開始時及びその後も継続して相場変動 が相殺されていることを確認すること により、有効性の評価を行ってしま す。ただし、特例処理によっている金 利スワップについては、有効性の評価 の判定を省略しております。</p>	ヘッジ手段	ヘッジ対象	為替予約	外貨建金銭債権債務	金利スワップ	借入金利息	<p>—————</p> <p>—————</p> <p>—————</p> <p>—————</p>
ヘッジ手段	ヘッジ対象							
為替予約	外貨建金銭債権債務							
金利スワップ	借入金利息							
(7) その他四半期連結財 務諸表作成のための 基本となる重要な事 項	消費税等の会計処理 税抜方式によっております。	—————						
5 のれんの償却に関する事 項	のれんの償却については、7年で均等償 却しております。	—————						
6 四半期連結キャッシュ・ フロー計算書における資 金の範囲	手許現金、要求払預金及び容易に換金 可能であり、かつ、価値の変動について僅 少なリスクしか負わない取得日から3ヶ月 以内に満期日の到来する短期的な投資であ ります。	—————						

(四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間（平成18年12月31日）	（参考）前連結事業年度（平成18年3月31日）
※1. 有形固定資産及び投資その他の資産の減価償却累計額	_____
有形固定資産	
投資その他の資産	
※2. 担保資産	_____
(1) 担保に提供している資産	
現金及び預金	
建物	
機械装置	
土地	
投資その他の資産	
計	
(2) 上記に対応する債務	
支払手形	
短期借入金	
長期借入金（1年以内返済予定の	
長期借入金含む）	
計	
3. 偶発債務	_____
下記の取引先の営業取引債務に対する保証額	
旭硝子㈱	
北上ハイテクペーパー㈱	
富士重工業㈱	
その他取引先4社	
計	
※4. 消費税等の取扱い	_____
仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ、流動負債「未払金」に含めて表示しております。	
※5. 第3四半期末日満期手形	_____
第3四半期会計期間末日満期手形の会計処理は、手形交換日をもって決済処理しております。	
なお、当第3四半期連結会計期間の末日は金融機関の休日であったため、次の満期手形が第3四半期連結会計期間末日の残高に含まれております。	
受取手形	
12,881千円	

(四半期連結損益計算書関係)

当第3四半期連結会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)		(参考) 前連結事業年度 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)
1. 減価償却実施額		_____
有形固定資産	49,058千円	
無形固定資産	1,486千円	
投資不動産	1,610千円	
※2. 営業外収益の主要なもの		_____
受取利息及び配当金	4,310千円	
投資不動産賃貸収入	3,618千円	
※3. 営業外費用の主要なもの		_____
支払利息	9,335千円	
株式交付費	4,133千円	
株式公開関連費用	27,904千円	
※4. 特別利益の主要なもの		_____
貸倒引当金戻入益	30千円	
固定資産売却益	1,000千円	
※5. 特別損失の主要なもの		_____
固定資産除却損	1,946千円	
固定資産売却損	74千円	

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)	(参考) 前連結事業年度 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)																
<p>※1. 現金及び現金同等物の当第3四半期末日残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">現金及び預金勘定</td> <td style="text-align: right;">403,463千円</td> </tr> <tr> <td>預入期間が3ヶ月を超える定期預金</td> <td style="text-align: right;">△5,000千円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">398,463千円</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	403,463千円	預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△5,000千円	現金及び現金同等物	398,463千円	—————										
現金及び預金勘定	403,463千円																
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△5,000千円																
現金及び現金同等物	398,463千円																
<p>※2. 株式の取得により新たに連結子会社となった会社の資産・負債の主な内訳</p> <p>株式の追加取得により新たに日化スミエイト(株)が連結子会社となりました。これに伴う連結開始時の資産及び負債の内訳並びに、株式の取得価額と取得のための支出(純額)との関係は、次の通りであります。</p> <p>(平成18年11月1日)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">流動資産</td> <td style="text-align: right;">187,013千円</td> </tr> <tr> <td>固定資産</td> <td style="text-align: right;">97,732千円</td> </tr> <tr> <td>のれん</td> <td style="text-align: right;">181,747千円</td> </tr> <tr> <td>流動負債</td> <td style="text-align: right;">△104,241千円</td> </tr> <tr> <td>取得時持分額</td> <td style="text-align: right;">△90,252千円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">株式の取得価額</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">272,000千円</td> </tr> <tr> <td>現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right;">79,811千円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">差引：取得のための支出</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">192,188千円</td> </tr> </table>	流動資産	187,013千円	固定資産	97,732千円	のれん	181,747千円	流動負債	△104,241千円	取得時持分額	△90,252千円	株式の取得価額	272,000千円	現金及び現金同等物	79,811千円	差引：取得のための支出	192,188千円	—————
流動資産	187,013千円																
固定資産	97,732千円																
のれん	181,747千円																
流動負債	△104,241千円																
取得時持分額	△90,252千円																
株式の取得価額	272,000千円																
現金及び現金同等物	79,811千円																
差引：取得のための支出	192,188千円																

(重要な後発事象)

当第3四半期連結会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)	(参考) 前連結事業年度 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)												
<p>(連結子会社の吸収合併)</p> <p>当社は、平成19年1月29日の取締役会において、平成19年4月1日を期して、子会社の日化スミエイト株式会社を吸収合併する事を決定致しました。</p> <p>(1) 合併の目的</p> <p>当社は、平成18年11月1日に日化スミエイト株式会社を100%子会社化した後、関東圏での営業及び製造業務の一体的な運営管理体制を構築してまいりましたが、今回より一層の効率的な運用を図る為、日化スミエイト株式会社を吸収合併することと致しました。</p> <p>(2) 合併の内容</p> <p>①合併の日程</p> <table data-bbox="220 772 778 1123"><tr><td>合併契約書承認取締役会</td><td>平成19年1月29日</td></tr><tr><td>合併契約締結</td><td>平成19年1月29日</td></tr><tr><td>合併契約書承認株主総会</td><td></td></tr><tr><td>当社</td><td>会社法第796条第3項の規定により開催しておりません。</td></tr><tr><td>日化スミエイト株式会社</td><td>会社法第784条第1項の規定により開催しておりません。</td></tr><tr><td>合併期日</td><td>平成19年4月1日</td></tr></table> <p>②合併方式</p> <p>当社を存続会社とする吸収合併方式で、日化スミエイト株式会社は解散致します。</p>	合併契約書承認取締役会	平成19年1月29日	合併契約締結	平成19年1月29日	合併契約書承認株主総会		当社	会社法第796条第3項の規定により開催しておりません。	日化スミエイト株式会社	会社法第784条第1項の規定により開催しておりません。	合併期日	平成19年4月1日	<p>—————</p>
合併契約書承認取締役会	平成19年1月29日												
合併契約締結	平成19年1月29日												
合併契約書承認株主総会													
当社	会社法第796条第3項の規定により開催しておりません。												
日化スミエイト株式会社	会社法第784条第1項の規定により開催しておりません。												
合併期日	平成19年4月1日												

<p>当第3四半期連結会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)</p>	<p>(参考) 前連結事業年度 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)</p>
<p>(3) 被合併会社の概要 (平成18年3月31日現在)</p> <p>①商号 日化スミエイト株式会社</p> <p>②事業内容 産業廃棄物の加工・再生処分及び 販売、産業廃棄物処理技術の開発 及びコンサルタント</p> <p>③設立年月日 平成6年6月15日</p> <p>④本店所在地 茨城県筑西市下江連1233番地2</p> <p>⑤代表者 代表取締役 要 光男</p> <p>⑥資本金の額 80百万円</p> <p>⑦発行済株式数 1,600株</p> <p>⑧純資産額 167百万円</p> <p>⑨総資産額 265百万円</p> <p>⑩決算期 3月31日</p> <p>(4) 合併後の状況</p> <p>①商号 アミタ株式会社</p> <p>②事業内容 環境ソリューション事業</p> <p>③本店所在地 東京都千代田区三番町28番地</p> <p>④代表者 代表取締役社長 熊野 英介</p> <p>⑤資本金 合併による資本金の増加はあり ません。</p> <p>⑥決算期 3月31日</p>	

① (要約) 四半期貸借対照表

区分	注記 番号	当第3四半期会計期間末 (平成18年12月31日)		(参考) 前事業年度 (平成18年3月31日)		
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	
(資産の部)						
I 流動資産						
1 現金及び預金		316,164		479,602		
2 受取手形		105,907		113,023		
3 売掛金		457,028		511,004		
4 たな卸資産		31,912		16,751		
5 その他		157,671		122,202		
貸倒引当金		△220		△250		
流動資産合計			1,068,465	37.3	1,242,333	49.9
II 固定資産						
1 有形固定資産						
(1) 建物		319,132		227,161		
(2) 機械及び装置		123,722		109,731		
(3) 土地		707,564		573,002		
(4) その他		76,752		44,025		
有形固定資産合計		1,227,171		953,920		
2 無形固定資産		11,051		9,565		
3 投資その他の資産						
(1) 子会社株式		312,000		—		
(2) その他		248,277		286,300		
投資その他の資産合計		560,277		286,300		
固定資産合計			1,798,500	62.7	1,249,786	50.1
資産合計			2,866,965	100.0	2,492,120	100.0

区分	注記 番号	当第3四半期会計期間末 (平成18年12月31日)		(参考) 前事業年度 (平成18年3月31日)		
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	
(負債の部)						
I 流動負債						
1	支払手形	1,060		5,341		
2	買掛金	250,038		233,928		
3	短期借入金	30,000		190,000		
4	1年以内返済予定の長期 借入金	275,254		224,232		
5	未払金	—		150,162		
6	預り金	185,956		168,518		
7	賞与引当金	28,719		49,349		
8	その他	203,442		159,162		
	流動負債合計		974,470		1,180,696	47.4
II 固定負債						
1	長期借入金	702,582		444,365		
2	退職給付引当金	88,749		80,237		
3	その他	1,454		1,454		
	固定負債合計		792,786		526,057	21.1
	負債合計		1,767,257		1,706,753	68.5
(資本の部)						
I 資本金			—		256,186	10.3
II 資本剰余金						
	資本準備金		—		189,207	
	資本剰余金計		—		189,207	7.6
III 利益剰余金						
1	利益準備金		—		20,450	
2	任意積立金		—		103,440	
3	当期末処分利益		—		210,530	
	利益剰余金合計		—		334,420	13.4
IV その他有価証券評価差額金			—		5,551	0.2
	資本合計		—		785,366	31.5
	負債及び資本合計		—		2,492,120	100.0

区分	注記 番号	当第3四半期会計期間末 (平成18年12月31日)		(参考) 前事業年度 (平成18年3月31日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
(純資産の部)					
I 株主資本					
1 資本金			459,079	16.0	—
2 資本剰余金					—
(1) 資本準備金		392,179			—
資本剰余金計			392,179	13.7	—
3 利益剰余金					—
(1) 利益準備金		20,450			—
(2) その他利益剰余金					—
退職積立金		30,000			—
別途積立金		120,000			—
繰越利益剰余金		75,528			—
利益剰余金合計			245,978	8.6	—
4 自己株式			△742	△0.0	—
株主資本合計			1,096,495	38.3	—
II 評価・換算差額等					
1 その他有価証券評価差額 金			2,574	0.1	—
2 繰延ヘッジ損益			639	0.0	—
評価・換算差額等合計			3,213	0.1	—
純資産合計			1,099,708	38.4	—
負債純資産合計			2,866,965	100.0	—

② (要約) 四半期損益計算書

区分	注記 番号	当第3四半期会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)		(参考) 前事業年度 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)			
		金額 (千円)	百分比 (%)	金額 (千円)	百分比 (%)		
I 売上高			2,822,106	100.0	3,067,116	100.0	
II 売上原価			1,723,584	61.1	1,671,301	54.5	
売上総利益			1,098,522	38.9	1,395,814	45.5	
III 販売費及び一般管理費			1,151,860	40.8	1,167,290	38.0	
営業利益			△53,338	△1.9	228,524	7.5	
IV 営業外収益			15,024	0.5	25,078	0.8	
V 営業外費用			44,382	1.6	40,594	1.4	
経常利益			△82,696	△2.9	213,008	6.9	
VI 特別利益			1,030	0.0	2,155	0.1	
VII 特別損失			2,020	0.1	27,235	0.9	
税引前第3四半期(当 期)純利益			△83,687	△3.0	187,927	6.1	
法人税、住民税及び事業 税		△1,699			104,786		
法人税等調整額		△24,552	△26,251	△0.9	△19,661	85,125	2.7
第3四半期(当期)純利 益			△57,435	△2.0	102,802	3.4	